

2020/02/26(水)10:08

授業科目名	キャリアデザインI(基礎)	授業形態	講義
英語科目名	Career Design I	開講学期	前期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	平林 正樹	ナンバリング	5001
科目担当者			
平林正樹(実務経験有り) 道谷里英(実務経験有り)			
授業の概要			
<p>「キャリアをデザインする」という基本的な考え方と基礎的な理論を学びます。</p> <p>多くの方が将来、組織人になっていきますから、組織とりわけ経営組織において自分のキャリアを意図的に設計し、そのための手段を考えていくことの大切さを学びます。</p> <p>ただ、学校教育や社会教育また家庭教育とも共通の「生涯にわたって学び直していくとともに、自分の人生を自分で決定し、行動を起こすことによって自分も変え、変え続けていく」という考え方から出発します。</p> <p>グローバル化などの変化の激しい現代の中で、社会が求める人材とは何か、それに応じて自分の目標を設計(デザイン)し、自律した個人として行動するための基礎的な考え方を理解したうえで、現代的・実務的なテーマまで進みます。</p> <p>ほぼ毎回、個人ワーク、グループ・ディスカッション、全体への発表などのアクティブ・ラーニングをおこなうことで、社会に出てからも不可欠なスキルを養成します。</p> <p>この科目はグローバル社会の中で教養人として生きていくための基礎の一つとなるものですので、卒業要件として一つは必ず選択せねばならないキャリア科目群の一つです。</p>			
授業の達成目標			
<p>1. 大学で学ぶ意義を知る</p> <p>2. 自分のキャリア(職歴を含む人生)を設計していく考え方を身につける</p> <p>3. 勇気をもって一歩踏み出す力を身につける</p> <p>これらを将来、職業についていく目標の形成にあわせて考え、行動ができるようになることです。</p> <p>とくに、社会のグローバル化などで環境変動が激しい現代のなかで組織もこれまで以上に変化への適応が求められる時代にあって、個人も自律的な学習を続けながら自分の生き方、働き方を考え続けるべきことを学び、自己理解を深めます。</p> <p>受講生はキャリアデザインの必要性を学ぶことで4年間の学習を計画的に行い、就職活動を準備する力をつけます。</p>			
成績評価方法			
<p>1. 成績評価方法</p> <p>①平常点(50%)</p> <p>②期末試験(50%)</p> <p>・授業内容に基づき、試験を行います。穴埋め問題と記述問題を出す予定で、問題の形式は授業中に指示します。</p> <p>2. 成績評価基準</p> <p>・期末試験: 基本用語を修得し応用できるか(60%)、授業内容を理解し表現できるか(40%)</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>授業の進行と学生の関心に応じて、以下の計画にかかわらず、柔軟に授業内容を変更します。</p> <p>最初の授業には必ず出て下さい。積極的な聴講を期待します。</p> <p>なお、私語は禁じます。わからないことがあれば私語をせず、途中でもどしどし質問して下さい。</p>			
テキスト・参考書			
<p>・テキストはありません。</p> <p>・毎回の資料はJPASSの「授業資料」に添付しますので、適宜参照してください。</p> <p>・参考文献は、随時紹介します。</p>			
オフィスアワー			
<p>授業後の60分間。</p> <p>可能であれば、数日前までにメールにて連絡し予約をしてください。</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
JPASSを活用してフィードバックします。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
			【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分)

2020/08/07(金)15:15

授業科目名	キャリアデザインII(応用)	授業形態	演習
英語科目名	Career Design II	開講学期	後期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	道谷 里英	ナンバリング	5002
科目担当者			
道谷 里英(実務経験有り)			
授業の概要			
キャリアデザイン1の受講を前提にして、グローバル化する社会の中でのキャリアデザインの考え方を理解した者に、実際にキャリアデザインの技法を使いながら、自らのキャリアデザインを考えてもらい、大学生活における今後の生き方、とりわけカリキュラム受講設計や課外活動の方針などを立ててもらいます。また、実際の社会人を授業に招いたり、自分たちが関心のある商品やサービスについてディスカッションを行うことを通じて、現在の社会で求められる能力についての理解を深めていきます。将来、世界で活躍できる組織人として必須の様々な人々との協働能力をあわせて高めるために、孤立した作業とせず、協働的な学習方法を取り入れます。			
授業の達成目標			
キャリアデザインの知識だけでなく、それを自ら実際に行動に移す訓練を行います。受講を通じて以下の力を発達させます。 1. 働くことにまつわる基本的な知識(労働法、業界の分類、会社という組織など)を理解する。 2. 多様な場で働く社会人による講義を通じて、働く意味ややりがい、求められる能力を理解する。 3. 自分自身のキャリアデザインの力を点検し、これからの大学生活で身につける力や取り組むべき課題を把握する。 4. これからの大学生活での目標を明確化し、行動計画を立てる。 5. グループ活動を通じて、自己と他者の違いを生かしながら、協働で問題解決を図るために必要な力を理解する。			
成績評価方法			
毎回の小レポート(30%)と、グループ内での意見発表、討論への参加の姿勢(30%)、最終レポート課題(40%)を総合して評価します。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
協働作業を重視する演習形式を一部取り入れるため、受講人数を絞る可能性がありますので、注意してください。 原則として、キャリアデザイン I 受講を条件とします。 自分の意見をまとめ、それを表現し、討論に参加する積極的な姿勢を重視します。 多忙な社会人を授業にお招きします。集中して話を聴き、積極的に質問を行ってください。			
テキスト・参考書			
講演と討論を重視する演習形式を取り入れるため、あらかじめ指定しませんが、随時指定するテキストを参考にしてください。資料を配布することがあります。			
オフィスアワー			
r-michitani@juntendo.ac.jp 個別にメールでアポイントを取ってください。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
期限内に提出されたレポートについては、授業の最終回にフィードバックを実施する。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	道谷 里英	【オリエンテーション】 ・授業計画の理解 ・産業構造の変化が仕事にもたらす変化 ・21世紀の働き方と求められるスキル ・ソフトスキルのセルフアセスメント	【予習】90分 これまでの大学生生活を振り返り、成長したと思えることと今後の課題と思えることをまとめること。 【復習】90分 授業で紹介された文献やwebサイトを読み、これからの大学生活で身につけておく力と現状の自分の力のギャップを認識すること。
2	道谷 里英	【社会と仕事】 ・ビジネスを知るための視点を学ぶ ・企業の採用基準について理解を深める ・グループディスカッション	【予習】90分 日頃の生活や学びを通じて関心をもった商品、サービスなどを調べ500字程度でまとめて持参すること。裏付けとなる新聞記事やwebサイトも明示すること。 【復習】90分 授業を受けて得た知識をもとに、事前課題とした仕事研究をさらに深化させること。第5回で発表してもらいます。
		【仕事と自分】	【予習】90分 働く場を選ぶとき自分が何を重視しているか(重視したいか)を考え

3	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の三要素 ・経済的価値と精神的価値 ・あなたにとっての報酬の意味 ・グループディスカッション 	<p>てくる。その際、世論調査などを参考にすること。参考文献情報は授業で教示する。</p> <p>【復習】90分 ディーセントワークを実現するために今後企業が取り組むべきことや、働く人たちが自身がなすべきことについてレポート(2000字)を作成すること。</p>
4	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【雇用されて働く】 ・労働法のおさらい ・雇用契約とは何か ・働き方改革が目指すもの ・グループディスカッション 	<p>【予習】90分 「アルバイト社員は年次有給休暇を取得できるか。取得するためにはどうするか。」を調べ、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 自分が気になる企業や職業がどのような基準で報酬を決定しているか、また可能であれば平均年収を調べること。</p>
5	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【仕事研究①】 ・あなたの関心とビジネス(業界、業種、職種、仕事等)について調査結果発表 	<p>【予習】90分 授業で調査結果を発表するための準備を行うこと。</p> <p>【復習】90分 仕事研究を通じて学んだことや、これからの就職活動で行う仕事研究の方法の改善点をまとめること。</p>
6	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【仕事研究②】 ・SDGsとビジネスとの関連について調査結果発表 	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話を聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
7	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【社会人による講義①】 ・社会や企業が求める人材についての理解を深める 	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話を聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
8	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【ディスカッション】 社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。 	<p>【予習】90分 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。</p>
9	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【社会人による講義②】 ・社会や企業が求める人材についての理解を深める 	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話を聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
10	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【ディスカッション】 社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。 	<p>【予習】90分 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。</p>
11	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【社会人による講義③】 ・社会や企業が求める人材についての理解を深める 	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話を聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
12	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【社会人へのインタビュー共有とディスカッション】 ・身近な社会人のキャリアから学ぶ(情報収集結果の共有) 個人別に発表し、質疑応答 	<p>【予習】90分 事前に社会人にアポイントをとり、インタビューを行い、その結果をまとめて持参すること。</p> <p>【復習】90分 他の受講生の発表を聞くことで得られた情報をもとに、さらに必要な情報を収集すること。</p>
13	道谷 里英	<ul style="list-style-type: none"> 【自分を振り返る①】 ・キャリアデザインに必要な能力の振り返り 	<p>【予習】90分 キャリアデザインに必要な力のセルフチェックを実施し、自分の課題を整理しておくこと。</p>

